第２回吹田市文化会館（メイシアター）指定管理者候補者選定委員会　議事概要

１　開催日時　令和８年８月21日（金）13:30開会、16:00閉会

２　開催場所　吹田市役所　低層棟３階　研修室

３　出席委員

	委員氏名	役職等
委員長	大島　博文	大阪成蹊大学　経営学部　公共政策コース　教授
副委員長	宮里　慶子	千里金蘭大学 教育学部　教育学科　准教授
委員	生熊　茜	吹田市出身の音楽家（ピアニスト）
委員	別府　尚武	特定非営利活動法人トイボックス　公共事業部　本部長
委員	金子　真也	近畿税理士会　吹田支部

４　欠席委員
なし

５　次第
（１）開会あいさつ
（２）選定方法の確認、事前評価の共有等
（３）申請者による事業計画書等の説明、質疑応答
（４）申請者の評価
（５）事務局による集計
（６）指定管理者候補者の選定、答申
（７）閉会

６　公開・非公開の別　　非公開・公開
理由：吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針の第９項第２号、及び吹田市情報公開条例７条第３号及び第４号の規定による。

７　議事要旨

発言者	議事要旨
事務局	（次第（１）開会あいさつ） （次第（２）選定方法の確認、事前評価の共有等）
委員長	まず、選定基準（２）ウの審査の基準である「過去３年間の決算報告書の経常及び営業損益から組織的、財政的能力がある」という内容について、D委員から説明をお願いしたい。
D委員	コロナ禍では実質的には赤字であったようだが、過去３年においては正味財産の増減がプラスで、一定の収益性があり問題ないと評価できる。直近の決算書、令和８年３月期の貸借対照表でみても、短期的な運営でも問題はない。 固定資産のうち投資有価証券は20年国債であり、満期まで20年間保有することで資金が拘束されてしまう懸念があるが、大きな問題ではない。

委員長	資金の固定化が懸念か。
D委員	時価が下がっている今、市場で売却すると不利になるが、運用による利息収入を得ることを目的とした満期まで保有する債券であるため大きな懸念事項ではない。
委員長	他に確認しておきたいことはあるか。
C委員	資料を拝見しても非常に安定感、安心感があるが、非公募で競争性がないため、コスト削減のための工夫や新しい取組があるのかが懸念される。５年の指定管理期間でどのようなことを考えているのか聞かせてもらいたい。
委員長	評価に反映するとなると、どの項目か。
C委員	（2）ウの（イ）のコスト削減の取組を伺いたい。事業に関しても新規性があるかどうかを確認したい。
A委員	コスト削減の方策は確認すべき事項であると考えている。抽選プロセスの可視化についても公平性の観点から聞きたいと思っている。
B委員	吹田の若手アーティストの育成について聞きたい。すいたティーンズクラシックフェスティバルなどの継続して行ってきた事業をもっと活かしてほしいと感じている。
D委員	50周年事業がどういった規模なのか聞きたい。
	（次第（３）申請者による事業計画書等の説明、質疑応答）
申請者	【申請者入場】【事業計画書等の説明】
A委員	平等利用の確保という点で、抽選会の実施をされているが、その方法をお示し願いたい。録画しているということだけでなく、透明性確保のための抽選の仕方や基準について示して欲しい。
申請者	ホールの利用では、複数の部屋を同時に申し込むことが多いため、申込みが重なった部屋を抽選するのではなく、申込みの順番を抽選で決めるという方法を取っている。また、市内と市外の申込みに特に差は設けていない。抽選の際は職員がくじを引く場面を録画している。 抽選の参加件数は、令和７年度の月平均で、ホールが34件、諸室が15件、合計49件となっている。抽選での確保率は、ホールが58.7%、諸室が98%であった。
C委員	コストの削減について、電力会社を変えるとか、複数見積をとるとか、具体的にどういったことをしているか。
申請者	電力の使用については、細かく空調管理することで経費上昇を抑制している。 その他、令和７年度にホームページをリニューアルした際に、更新、保守作業のコスト削減を行った。
C委員	水光熱費は経費の中でも割合が大きいが、特に電気代について、いわゆる新電電の見積取得は行っていないのか。
申請者	見積は取っていないが、契約内容を見直すことで経費上昇を抑制している。
D委員	決算書では文化事業積立資産を50周年事業に引き当てているということだが、ある程度内容を決めて積み立てているのか。
申請者	公益法人法の改正により使途不特定の資産を積み立てられるようになったため、不測の事態に備えるために積み立てており、具体的な事業を見込んでいるものではない。
D委員	会館の修繕計画は立てているのか。
申請者	指定管理料で行う修繕は、原則として突発的な少額の修繕のみである。中長期な計画に沿ったものに関しては、市と連携して行っている。

C委員	すいたあと出身者からホール出演にステップアップする事例はあるか。また、部活動の地域移行が近年課題となっているが、調査しているのか。
申請者	元々すいたあとやメイシアター前の公園でライブを行っていた方が、小ホールでライブを行った事例がある。 また、市内大学の落語サークルでは、まずは試行的な形式のものをすいたあとで行い、経験を積んだ後に小ホールで行うという事例もある。 部活動の地域移行については、若年層に施設に親しんでもらう良い機会でもあり、市の施策に協力したいと考えている。課題としては、ホールの空きが少ないため、どのようなプログラムが実現可能かを検討していきたい。
B委員	地元のアーティストの発掘や育成を目的とした新しい取組はあるか。
申請者	地元のアーティストの新たな発掘、育成につながるよう、常にアンテナを張っている。新しい方々を市民に紹介するような企画に今後も積極的に取り組みたい。
A委員	防犯対策について、盗撮やこども性暴力防止法、カスタマーハラスメント等に関しての取組状況は。
申請者	防犯対策として、館全体のシステムとして24時間常駐警備をしており、警備員が１日10回以上の巡回警備を行っている。また、ホール内で撮影を許可するかどうかは主催者判断としているが、事務所に相談があれば対応している。置引きに関しては、主催者の判断で注意喚起のアナウンスを入れていることもある。 また、吹田警察と毎月情報交換を行っており、必要に応じて連携できる体制を取っている。
C委員	様式２（５）に地域特性をいかした魅力ある街づくりとあるが、吹田市の地域特性を具体的にどう考えているのか。大学や企業がある以外にあれば聞きたい。
申請者	市内には５つの大学があり大学連携を進めているが、それに加えて吹田市は建都の取組も行っており、市医師会とも連携している。 また、文化芸術に対する意識の高い市民が多いと感じている。子どもに芸術の体験をさせたいと思っている保護者も多い。
委員長	利用促進について、利用者の満足度調査はしているのか。
申請者	事業ごとにアンケートを行っている。アンケートを集計し、次の事業に活かすようにしている。 例えば、クラシックで「知っている曲があったから楽しかった」という意見が多く聞かれると、演者と調整して喜ばれるようなプログラムを考えている。また、落語会や映画会で「音が聞こえにくい」という書込みが多くあれば、音量を大きめに設定するなど、ニーズに合わせた対応をしている。
委員長	ニーズに対応することで参加者増につながっているか。
申請者	参加者数の追跡はできていないが、「このようなことをやってほしい」という意見は次の事業に反映するようにしている。ポピュラーミュージックや、子どもたちが鑑賞できるようなクラシックコンサートなどをやってほしいとの意見が多く、増やしていきたい。
委員長	商業的な側面と文化振興の側面とのバランスが難しいが、どのように考えているか。
申請者	確かに難しいが、文化会館の設置目的に沿うよう市と密接に連携しつつ、できる限り市民のニーズにも応えていきたい。

委員長	広報活動について、子どもや10代20代への取組や考え方はあるか。
申請者	小さい子どもへの取組としては、市と連携し、学校や幼稚園、保育園に事業のチラシを配布しており、大きな効果があると感じている。具体的には、人形劇や子ども向けバレエのチラシを小学校に配布して多くの方に来ていただいた。 20代へのアプローチは、インスタグラムを利用したり、高校や大学へ直接チラシを送付するなどしている。
委員長	若い人が集まるように事業の面で意識していることは。
申請者	大学と共同して行っているファミリーミュージカルやダンスのイベント、公園ライブなど、10代、20代の人が集まる事業を毎年実施し、若い人に集まってもらう機会を作っている。
	【申請者退場】
	（次第（４）申請者の評価）
	（次第（５）事務局による集計）
	― 暫時休憩 ―
	【採点結果集計表配付】
事務局	【評価点数の合計が60点以上である委員が半数以上であったため、申請者が指定管理者候補者となる基準を満たしていることを報告】
委員長	事務局からの報告について、意見はあるか。
C委員	水光熱費の上昇が続いている中で、特に電気契約の見積を複数社から取ることで経費節減ができる可能性は大きい。今日具体的な経費削減策として聞けたのは、ホームページの部分だけだったが、他にも経費削減の努力をすることで市民に還元できる部分があると感じたので、市からも努力を促して欲しい。 また、事業の面で、市民が求めるものと事業団がやりたいものに差が生まれないように努める必要がある。催しに参加しない市民のことを考え、なぜ来ないのかという視点を持って事業を企画することが必要ではないかと感じている。
A委員	採点結果について、どこまで公表されるのか。
事務局	令和８年度吹田市文化会館指定管理者候補者選定採点表の評価項目ごとの採点結果を市のホームページで公開する。
A委員	非公募での選定のため、透明性の確保、情報の公開が重要だと考えている。社会情勢の変化も踏まえ、公表基準については今後検討いただきたい。
B委員	地元出身のアーティストが活躍できるように、今後も新しい企画をしてもらいたい。
D委員	20年国債について、次期は保有しない方が良い。
委員長	事業への意欲の高さは評価できるが、非公募での選定であるからこそ、費用削減につながる具体的な取組をさらに実施していただくことで、市民の理解にもつながるのではないか。 文化施設は利用者の偏りが出やすい施設なので、事業の分野や利用者の年代についてデータの整理をすることが必要と考える。それによって幅広い対象者に向けて取組ができているということが示せるだけでなく、空白の層に向けた企画も実施でき、公共施設としての公平性が保てると考える。
	（次第（６）指定管理者候補者の選定、答申）
委員長	「吹田市文化会館条例第11条」の規定により、採決を行う。本選定委員会として、採点結果に基づき「公益財団法人吹田市文化振興事業団」

	を指定管理者候補者とすることに異議はないか。
全委員	（異議なし）
委員長	指定管理者候補者とすることに異議なしとのことだが、答申に際して付帯意見を付けるか。
全委員	（意見なし）
委員長	吹田市文化会館指定管理者候補者について当該団体を選定することに決定する。
	―答申書手交―
事務局	その他連絡事項 （次第（7）閉会）